



検査情報月報3月号 ▶ 概要版 ◀



▶ 横浜市衛生研究所では、所内で実施した試験検査などの結果に解説を加えて、検査情報月報を発行しています。

2023年3月発行

アレルギー物質を含む食品検査（令和4年度）

- ▶ 現在、食物アレルギーの原因となることが知られている食品原材料のうち、発症数が多いものや重篤度の高いもの7品目（卵、乳、小麦、そば、落花生、えび、かに）が特定原材料として指定されています。加工食品に特定原材料を含む場合、その旨を表示することが義務付けられています。
- ▶ しかし、表示の記載漏れや製造・調理施設での混入（コンタミネーション）等があった場合、食物アレルギーのある人がその加工食品を知らずに食べると、アレルギー症状（じん麻疹、下痢、呼吸困難等）が起り、中には死に至るケースもあります。

- 主な結果** ▶ インターネット買取及び市内の食品製造施設、保育所、小学校から取去した**特定原材料（卵、乳、小麦）**を使用していないとされる食品について検査を行いました。
- ▶ 卵を使用していないとされる食品48検体、乳を使用していないとされる食品46検体、小麦を使用していないとされる食品35検体の検査を行いました。
 - ▶ ELISA法によるスクリーニング検査の結果、**全ての検体が陰性**（10ppm未満）でした。

横浜市衛生研究所WEBページ情報（令和5年2月）

- ▶ 衛生研究所は保健所と連携しながら、科学的・技術的支援機関として、市民生活に密着した健康・安全・安心に関する試験検査や調査研究を実施しています。また、これらの業務で得られた感染症、保健、食品衛生、生活環境衛生、薬事に関連する情報を、WEBページなどで公開しています。
- ▶ そのうち感染症に係る内容は、感染症・疫学情報課に設置された横浜市感染症情報センターが発信する情報です。本センターは市内における患者情報及び病原体情報を収集・分析し、市民や医療機関へ提供することで、感染症対策に役立てています。

- 主な結果** ▶ 季節性インフルエンザは2020/21シーズンと2021/22シーズンには、流行がみられませんでした。2022/23シーズンは注意報レベルを超えました。これを受けて、**横浜市インフルエンザ流行情報**が発行され、2月には5号～8号がWEBページに掲載されています。

横浜市衛生研究所の紹介動画 公開中 !!

- ▶ 職員のキャラクター **エイちゃん** と **ケンくん** が、普段見ることができない研究所の内部をご案内します。ぜひ、ご覧ください！



Kenくん

ようこそ横浜市衛生研究所へ

検索

<https://www.youtube.com/watch?v=dWTuDPSBj8>